

これがオススメ! 読み聞かせ本

全学年向き

学習指導要領で読み聞かせがすすめられて、読み聞かせについてのたくさんの本が出版されています。また、ブックリストもたくさん出ていますが、さて実際に子どもたちに読もうと思うと、どの本がいいのか、どうやって読んであげたらいいのか、困ってしまいます。「これなら楽しく読み聞かせができるよ」という本と読み方を紹介しましょう。

日本には、夏休みに「お盆」という風習があります。故郷から離れて都会などに住む人は、「お盆」の時期に帰省して先祖を祭る行事に参加することになっています。

でも現在の日本の「お盆」はそんな風習がすっかり残っていないでしょうか。

一方、日本と同じ東アジア文化圏の「韓国」は、どのようにこの時期を過ごしているのでしょうか。

昨今の「韓流ブーム」で大人から子どもまで多くの人が、隣りの国「韓国」のこと、そして文化芸能に関心を持っています。テレビを視聴していると、韓国は日本以上に親戚関係などの結びつきが強いなと思わされます。

この絵本を読むと、韓国では夏休みの「お盆」をどのように迎えているのかがわかります。



ソリちゃんのチュソク

イ・オクベ／絵と文・みせ けい／訳
(セーラー出版)

韓国の「お盆」は「チュソク」というそうです。子どもにも読み語りながら日本と対比したり、その時期の体験を話し合ったりしてみるのもいいし、大人はこの絵本から昔の日本の原風景を思い起こしてみるのもいいと思います。

きっと子どもたちは久しぶりに会える祖父母やいとこたちとのゆったりした時間を幸せな気持ちで思い起こしたり、心待ちにしていたりすることでしょう。

日本でも最近、人と人との関係を「絆」という言葉で表現し、コミュニケーションを大事にしないでとは盛んに言っています。

隣りの国の年中行事を、丁寧に暖かい筆づかいで描いたこの絵本は、古き良き日本をも見せてくれる懐かしい本です。

ゆっくりと絵を見て、息づいてる人々まで感じたいものです。